



Creative Application A12

# 美のメディア論1：メディアモデル - 存在と美

2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

---

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます。答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

# 資料の見方

---

テーマに沿った項目  
(座学で説明します)

左の内容に関連した  
補足キーワード  
(調べ物に役立ててください)

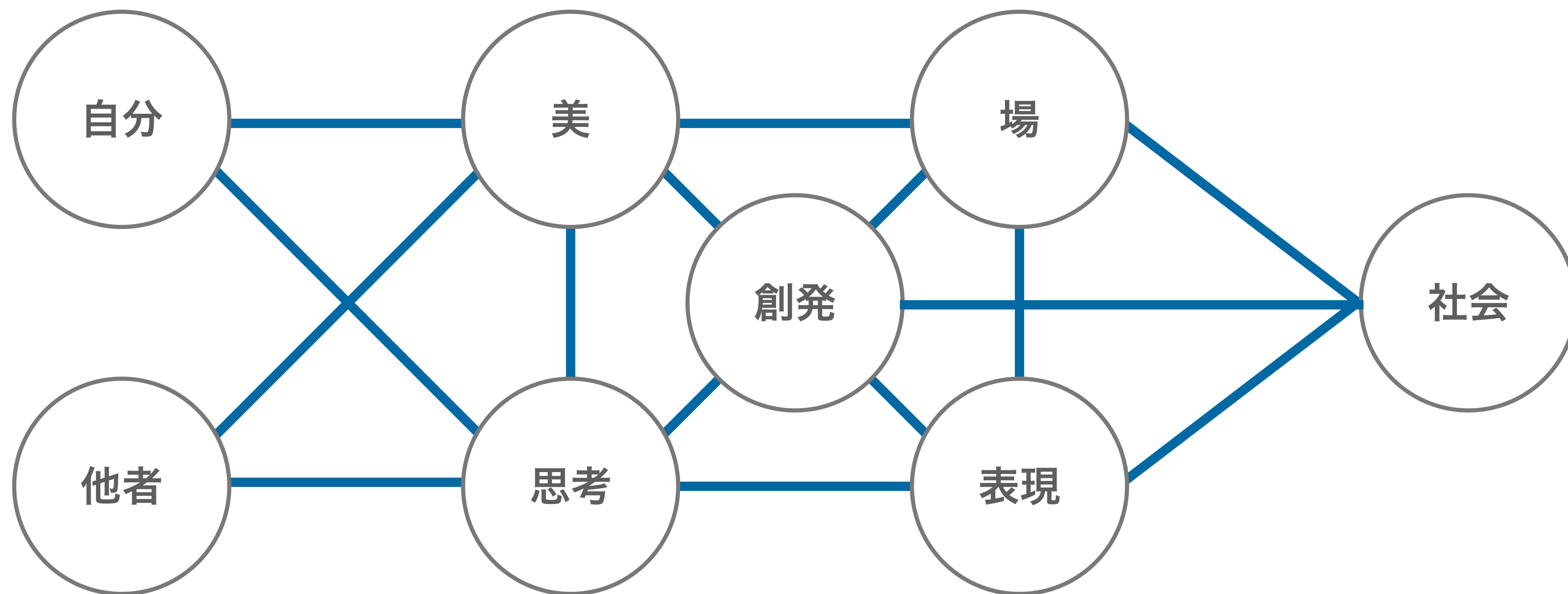
# テーマ

---

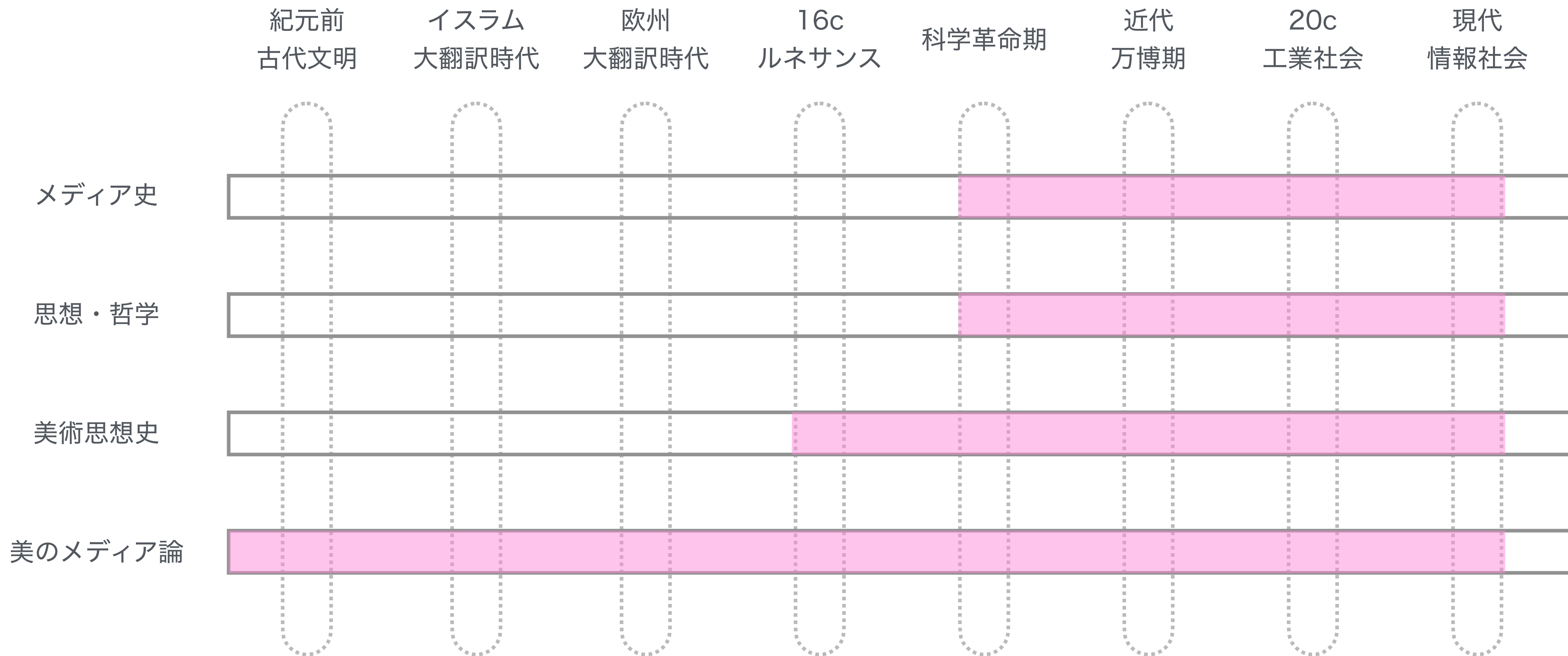
▶ **自分, 他者, 社会, 思考, 存在, 美, そしてメディア**

# 関連要素図

---



# 今回の領域



# 思考・美・存在・メディアの整理

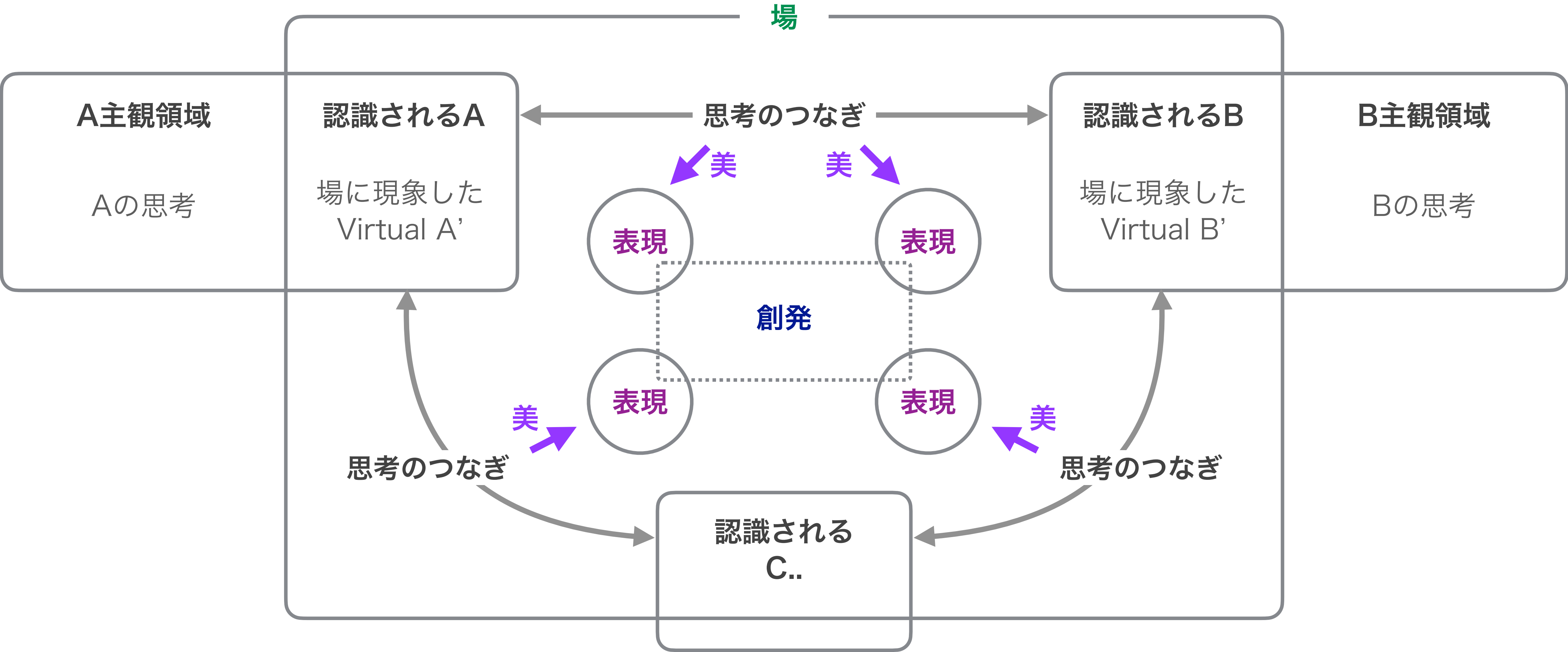
---

- ▶ これまでのテーマを整理して深化させる
  - ▶ 個人の思考をつなぐ(メディア化)
  - ▶ 美の主観性と普遍性
  - ▶ 存在・実在・リアリティ
  - ▶ メディア・サイクル

## 関連キーワード

- 主客弁別と主客不可分
- 存在論と認識論, 新実在論
- もののあはれ, 幽玄
- メディア化, メディアサイクル

# メディア・モデル(2024 渡邊)





# モデル考察1：メディアの場と主観・存在

---

- ▶ **主観と認識される存在の共存**
  - ▶ 主観は場で形を変えて現象する
    - ▶ 異なるが実質同じ (Virtual)
  - ▶ 場は存在が互いを認識しあい成立する
- ▶ **存在は場ごとに生まれる. 場に絞った実在**
- ▶ **存在は場で形を変える. 主観とズレて良い**

## 関連キーワード

- カント, 批判哲学, 認識論
- ガブリエル, 新実在論
- 諸行無常, 諸法無我
- Virtual Reality, アバター

# モデル考察2：美とメディア表現

---

## 思考の結びの質を高める過程と美

- ▶ つなぎを良くしようと試みる
- ▶ 主観的な美を加えた表現 → 普遍性も付与

## 美が含まれた表現に含まれる普遍性が

他者へのつなぎを強化する

### 関連キーワード

- 美の主観性・普遍性
- バウムガルテン, 美学
- もののあはれ
- 思考の結び, メディア化
- デッサン, ディセーニョ

# 自分, 他者, 社会, 思考, 存在, 美, そしてメディア

---

- ▶ メディア・モデルの提唱
  - ▶ “主観”と”場の自分”の並立性
  - ▶ 思考のつながりを強化する美の考慮
  - ▶ 場で変化する存在と認識
  - ▶ 主観がズれることへの理解
- ▶ **ズれる主観を, 美で接着して場を醸すモデル**
- ▶ **場のメディア表現を活発にして社会につなぐ**

# CreApp-Bのリンク11

---

- ▶ **つくったものがメディアとなり得るのか評価する**
  - ▶ メディアになるばかりが価値ではないが、伝わることも高い価値の1つ
  - ▶ メディア性を求めず、主観を追究するものはアートと言える(それもOK)
  - ▶ メディア性を求めるならば、コンテンツが伝わるかを常に意識してつくる

# 本日の談義・考察一助

---

- a. メディアモデルで違和感がある点を挙げてほしい
- b. メディアモデルが適用できる具体例はあるだろうか
- c. メディアモデルの応用は何か考えられるだろうか
- d. 上記に限らず、自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

# 次回予定

---

- ▶ **美のメディア論2：これからのメディア社会**

# 参考文献

---

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
4. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
5. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
6. 藤田 一照, 山下 良道, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
7. 永井 均, 藤田 一照, 山下 良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
8. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
9. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
10. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
11. 東 浩紀, 「動物化するポストモダン」, 講談社現代新書, 2001